

[新規変更します]

『経済科学』ノン・レフェリー論文の取扱いについて

編集委員会

ノンレフェリー論文の投稿条件を次のようにする。

1. 投稿資格者（以下のいずれか）

- ①名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程に在籍中の者
 - ②名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程の修了者・満期退学者のうち日本学術振興会科学研究費補助金への申請が認められる研究機関に就職していない者
 - ③名古屋大学大学院経済学研究科を研究機関とする日本学術振興会特別研究員
- * 共著の場合は、共著者のいずれもが投稿資格を満たすこと。

2. 投稿前に下記のいずれかで投稿内容に関連する報告・講演等を行っていること。

（共著の場合は著者のうち少なくとも一名）

（論文提出は報告日・講演日の年度内または翌年度内に限る）

- 1) 日本学術会議協力学術研究団体（学術会議）に登録された学会の本大会あるいは部会で報告してあること。
学会のプログラム、受けたコメント、その修正を紙ベースで提出する。
- 2) 名古屋大学大学院経済学研究科で開催されるセミナー（課題設定型ワークショップ等）を含め、一般に広く周知されているセミナーや講演会での報告（講演）を行っていること。
セミナー・講演会の日時・場所・タイトル・おおよその出席者数、コメントがあれば受けたコメントとその修正を紙ベースで提出する。

3. 投稿前に在籍者は指導教員、修了者・満期退学者は在籍期の指導教員（指導教員が退職していた場合はそれに代わる本研究科の講師以上の教員）、日本学術振興会特別研究員は受入教員の査読を受け、投稿申請書に査読者から署名・捺印をもらうこと。（共著の場合は共著者のいずれもが署名・捺印をもらうこと）

4. 英語を母国語としない投稿者が英文の論文を投稿する場合は必ずネイティブスピーカーにチェックをしてもらい、日本語を母国語としない投稿者が日本語の論文を投稿する場合は必ず日本人にチェックしてもらい、それぞれ証明を提出する。

5. ノンレフェリー論文の投稿受付を年1回可能とし、掲載本数を通算で3本までとする。

6. ノンレフェリー論文の掲載枚数をレフェリー論文と同じく、和文はA4サイズ（40字×30行／頁）で24枚、英文はA4サイズ・ダブルスペース（28行／頁）で40枚を上限とする。

7. 実施は2015年 9月 16日からとする。